

JA だより



—自然のめぐもりと暮らしたくて—

第67回 しずない農業協同組合通常総会

枝コミュニケーション 自然のめぐもりと暮らしたくて



常務

組合長

副組合長

第67回 JAしずない通常総会



第67回 しずない農業協同組合通常総会開催

全6議案原案通り可決される



大手企業の利益は上がりましたが、地方にはその恩恵が届かず、コストだけが上昇し、私たちは利益の上がない一年となりました。

また、昨年5月に規制改革会議、ワーキンググループより「農業改革」に関する意見が提出され、6月に規制改革実施計画が閣議決定し、農業系統組織に自己改革を求める内容が示されました。

J Aグループ北海道は、組合員皆様からの意見や提案をもとに北海道中央会、各J A連合組織が、自己改革に取り組む指針として、「J Aグループ北海道改革プラン」を策定しています。

基本姿勢は「持続可能な北海道農業と豊かな地域社会」に向けて、「改革すべきものは改革し、守るべきものは守る」という指針を示しています。

私たちもこの機会に協同組合の理念を今一度振り返り、原点を見つめ直し、改革はあくまでも自らで進め

4月21日、新ひだか町公民館において「第67回 しずない農業協同組合通常総会」が開催されました。冒頭挨拶において、西村和夫代表理事組合長より「国内では、安倍政権のアベノミクスの規制緩和をもとにした経済の成長戦略が推し進められ、消費税8%、円安・株価上昇と

ていくべきと考えております。T P P 交渉については、関係国の首脳閣僚、交渉官等による各種会合並びに交渉が継続的に行われております。

この問題は、農業分野だけではなく、国民の暮らしや地域社会の崩壊が危惧されます。T P P 交渉に関しては、引き続き注意深くその動向に目を向けて、生命維持産業と食料の安全保障の観点から農業が担う使命に基づく行動をJ Aグループと共に行っていききたいと考えております。



当J Aにおける平成26年度の生産状況につきましては、施設野菜の主

力、当地区のブランド品ミニトマト「太陽の瞳」は、年明けからの原油高騰で、促成栽培の燃料費がかさみ、前半の出荷は苦勞しましたが、年間を通じて天候が安定し、また、価格の上昇にも恵まれ、計画対比109・7%の8億570万円となり、過去最高の取扱いとなりました。

黒毛和牛は、市場の素牛不足感から、昨年も年間を通して高値で市場取引され、計画対比120・0%、販売頭数844頭で4億9,424万円と昨年より1,267万円の増加となっております。

酪農は、乳価が上昇し、出荷乳量についても前年比で増加し、計画対比105・7%の3億4,194万円となりました。

水稲は、作況が日高で108ということで、4年連続の豊作でしたが、価格の下落と青死米が多かったことから計画対比97・6%で7,662万円となりました。

この結果、平成26年度の農畜産物販売合計で、計画対比110・7%の21億2,000万円となり、3期続けて取扱高を更新致しました。

この成果につきましては、組合員皆様の日頃の努力に対して、高い評価が得られたものであり、改めて敬意と感謝を申し上げます。

また、当J Aの基幹産業である軽

種馬の市場販売は、318頭で22億7,800万円と、前年より43頭多く、6,770万円の増加となりました。平成25年度産馬は1,100頭程生産されており、仔分、預託、庭先販売の収入を含めますと、やはり主要な産業といえます。

当JAの平成27年度に向けましては、各作目ともに産業奨励事業やブランド品の市場拡大と栽培技術の向上、新品種への取り組みなど、安定した生産経営を推し進めていきたいと思えます。

地域農業の担い手確保対策については、昨年から新規就農の農家1期生2組の研修生が農業を始めました。今年度は、2期生3組7名が就農予定となっております。この後、3期生、4期生と就農予定であり、研修生の積極的な受け入れと農業後継者の育成を図り、農業担い手の確保に取り組んで参りますので、組合員皆様の温かいご支援をお願い申し上げます。

ホツカイドウ競馬の昨年の開催結果は皆様のご支援を頂きまして、発売額計画対比112.0%の157億669万円となり、2年連続で黒字収支となりました。各振興会、青年部・女性部他多くの方々のご支援に対しまして、深く感謝を申し上げます。

ます。

また、今年度からは、内回りコースが新設され、バリエーションのある番組となる予定であり、レベルの高いホツカイドウ競馬になると期待をしており、当JAと致しましても引き続き支援をして参りますので、皆様におかれましても、これまで以上のご支援をお願い致します。



当JAの各部事業については、総会資料に詳しく掲載しておりますが、信用事業については、JAバンクールの改正で金融機関に対する規制が一層強化され、「要改善JA」と

して、事業全般にわたり、経費節減の中で利益確保を図り、経営改善を進めて参りました。

結果、ほぼ計画通りの3,361万円の剰余金を計上することができ、このことにより、自己資本比率は前年度末の8.69%から1.05%増加し、9.74%となりました。平成27年度におきましても引き続き財務改善に取り組んで参りますので、組合員皆様のより一層のご理解をお願い致します。

しずない・にかつぷ・ひだか東の3JAの合併につきましては、目標年度を定めておりましたが、合併検討協議会の中で、まずは自らの自助努力による財務改善を図り、合併環境を整えることを最優先とすることを決め、引き続き組合員皆様の理解と協力の中で取り組んでいかなければならないと思っております。宜しくご理解の程お願い申し上げます。

更に今年度は、新たなJAしずない農業振興5カ年計画の年です。「活力と豊かな農業をめざして」ということで、農業所得410万円以上を目標として取り組んでいきたいと思っております。ご検討頂きたいと思

います。この様な環境の中、平成27年度におきましても、地域農業振興、JA財務の健全化を図るため、更に努力

をして参る所存でありますので、ご理解、ご支援をお願いするところでありませう」と挨拶がありました。

議長には、有田英二氏、原括也氏が選任され、上程された6議案全てが原案通り可決となりました。

そして、決議事項として提出された「農協改革に関する決議案」について、泊寿幸管理・金融・経営融資部専門委員長が、「TPP等国際貿易交渉から北海道を守り抜く決議(案)」については、落合信幸JAしずない青年部長が朗読し、ともに出席者全員からの満場一致で承認されました。



平成27年度 産業奨励事業について

平成27年度の産業奨励事業について、以下の通りご案内致します。

■ 事業名 高品質米生産安定対策事業 (事業費：6,234,900円)

■ 事業内容 当地区では、軽種馬生産等の副産物である良質な堆肥、有機肥料及び土壌改良材等を併用した土づくりを基本に環境に優しい農業を励行し、消費者に「安全・安心」で良質な農畜産物の提供によりブランド化を促進し、農家所得の安定化を図る。

■ 対象資材 (1) 有機肥料…①有機885 ②有機150 ③有機260
(2) 土壌改良材…①ケイカル ②ケイカリン

※上記の有機肥料及び土壌改良材の投入基準は『施肥ガイドブック』を規準とする。

■ 負担区分

栽培区分	町	J A	受益者
有機質肥料投入栽培	554,800円(1/6以内)	776,000円(23.3%)	1,998,000円(60.0%)
有機質肥料投入特別栽培	726,500円(25.0%)	872,000円(30.0%)	1,307,600円(45.0%)
合計	1,281,300円(20.6%)	1,648,000円(26.4%)	3,305,600円(53.0%)

■ 事業名 花卉野菜生産体制強化対策事業 (事業費：51,996,000円)

■ 事業内容 当地区では、施設園芸の中心を担うミニトマトが、長期にわたる出荷体制が整備されつつあり、実需者からの評価も高く、取引価格の安定に繋がっている。しかし、昨年からの原油高騰による生産資材価格及び燃料費の値上がりにより、農家経営は依然厳しい状況に置かれている。そのような状況を鑑み、ハウス施設及び加温ボイラーに加え、コスト削減に向けた機材の導入等農業施設の整備を進め、産地形成の充実と農家所得の安定化を図る。

■ 対象設備 (1) ハウス施設…①ハウス施設(100坪) 26棟(うち新規就農者21棟)
(2) ハウス付帯設備…①二重カーテン 26張(うち新規就農者21張) ②遮光ネット 10張
③灌水設備 21組(新規就農者分) ④育苗保温温床資材 21組(新規就農者分)
⑤ボイラー(10万kcal) 1基 ⑥ボイラー(3万kcal) 1基

■ 負担区分

	道	町	J A	受益者
産業奨励事業負担	—	2,767,000円 (25%以内)	2,767,000円 (25%以内)	5,535,000円 (50%)
地域政策負担	16,000,000円 (40%)	2,046,000円 (5%)	2,046,000円 (5%)	20,835,000円 (50%)
総合負担	16,000,000円 (30.77%)	4,813,000円 (9.26%)	4,813,000円 (9.26%)	26,370,000円 (50.71%)

■ 事業名 施設園芸作物生産向上対策事業 (事業費：1,800,000円)

■ 事業内容 当地区では、施設野菜の栽培が盛んに行われているが、雨よけハウスでの栽培のため、床土の地力が衰え、年々作物の収量が減少傾向となりつつある。そのような中で、有機物の投入を持続的に行うことにより、一層の地力増進と品質向上により収量の増加を図り、農家所得の安定化を図る。

■ 対象資材 有機堆肥(ヒダカノキセキ及び新ひだか町和牛堆肥)

■ 負担区分

	道	J A	受益者
負担区分	300,600円(1/6以内)	419,000円(23.3%)	1,080,400円(60.0%)

■ 事業名 **自給粗飼料生産基盤強化対策事業** (事業費：7,359,100円)

■ 事業内容 当地区は、自給粗飼料生産草草が狭小なため更新率が低く、収量が低下している状況にある。そのため、作業機械使用料の一部を助成し、更新率を高め、自給粗飼料の収量増加を図る。また、土壌診断に基づいた施肥及び土壌改良材の投入、適正な除草剤散布を行い、良質な自給粗飼料を確保し、農家所得の安定化を図る。

- 対象事業
- | | | | | |
|----------------------|----------|-----------|----------|-------|
| (1) 草地更新…①炭カル | 25ha分 | ②ヨーリン | 45ha分 | |
| (2) 除草剤散布…①ラウンドアップ乳剤 | 25ha分 | ②アージラン乳剤 | 16.6ha分 | |
| | ③ハーモニー乳剤 | 16.6ha分 | | |
| (3) 作業機械…①プラオ | 25ha分 | ②整地(ブル使用) | 25ha分 | |
| | ③ディスクハロー | 25ha分 | ④グラスシーダー | 25ha分 |
| | ⑤鎮圧ローラー | 25ha分 | | |

負担区分	町	J A	受益者
土地改良材・除草剤負担	726,200円(1/6以内)	1,090,000円(25.0%)	2,542,900円(58.3%)
作業機械負担	500,000円(1/6以内)	750,000円(25.0%)	1,750,000円(58.3%)
合計	1,226,200円(1/6以内)	1,840,000円(25.0%)	4,292,900円(58.3%)

■ 事業名 **黒毛和牛生産基盤確立対策事業** (事業費：8,000,000円)

■ 事業内容 当地区では、肉用牛を重点作物として複合経営への推進を図っている。しかし、新規参入者等にあつては、初期投資額が大きな課題であることから現有施設の有効活用を図り、生産基盤強化を図り、農業所得の安定化を図る。

- 事業対象
- (1) 繁殖素牛…①黒毛和牛素牛生産に係る繁殖素牛導入に対し補助する。
 ②単年度対象頭数は30頭を基準とする。
 ③1戸当たり単年度対象頭数は5頭以内とし、飼養繁殖頭数が59頭に達する場合には、その範囲内とする。
 ④対象農家は、繁殖牛(12ヵ月齢以上)59頭以下の飼養農家とし、基準日は平成26年1月31日基準とする。
 ⑤1頭当たりの補助対象限度額は400千円とし、補助額は1頭当たり120千円以内とする。
- (2) 自家保留牛…①飼養する繁殖牛の産子で、別に定める審査会で承認を受けた雌牛の保留に対し補助する。
 ②単年度対象頭数は40頭以内とする。
 ③1戸当たり単年度対象頭数は5頭以内とし、飼養する繁殖牛が59頭に達する場合は範囲内とする。
 ④対象農家は、繁殖牛(12ヵ月齢以上)59頭以下の飼養農家とし、基準日は平成26年1月31日基準とする。
 ⑤1頭当たりの補助対象限度額は150千円とする。

負担区分	町	J A	受益者
繁殖素牛	300,000円	300,000円	1,400,000円
自家保留牛	3,000,000円	3,000,000円	—
合計	3,300,000円	3,300,000円	1,400,000円

黒毛和牛素牛 市場販売成績

(平成26年9月市場~平成27年3月市場)

昨年1年を通して、販売価格が順調に推移した素牛市場であります
が、今年1月から3月までの市場においても昨年以上の平均取引価格
となり、今年も順調な推移を見せております。(※取引結果については、
宍平町・ホクレン南北海道市場でのもの。)

平成26年9月市場 (9月11日開催)

販売頭数 65頭 (去勢 41頭 めす 24頭)
販売金額 37,450,080円 (去勢 24,601,320円 めす 12,848,760円)
平均価格 576,155円 (去勢 600,032円 めす 535,365円)
最高価格 去勢 666,360円 (田原地区 渡辺隆さん販売)
めす 617,760円 (田原地区 渡辺隆さん販売)

平成26年10月市場 (10月8日開催)

販売頭数 74頭 (去勢 46頭 めす 28頭)
販売金額 44,231,400円 (去勢 28,512,000円 めす 15,719,400円)
平均価格 597,722円 (去勢 619,826円 めす 561,407円)
最高価格 去勢 795,960円 (浦和地区 (有)八田牧場販売)
めす 675,000円 (豊畑地区 宮本善悟さん販売)

平成26年11月市場 (11月6日開催)

販売頭数 69頭 (去勢 37頭 めす 32頭)
販売金額 42,399,720円 (去勢 24,462,000円 めす 17,937,720円)
平均価格 614,489円 (去勢 661,135円 めす 560,554円)
最高価格 去勢 752,760円 (東静内地区 片岡博さん販売)
めす 654,480円 (東静内地区 片岡博さん販売)

平成26年12月市場 (12月3日開催)

販売頭数 72頭 (去勢 43頭 めす 29頭)
販売金額 44,204,400円 (去勢 27,990,360円 めす 16,214,040円)
平均価格 613,950円 (去勢 650,939円 めす 559,105円)
最高価格 去勢 767,880円 (川合地区 富岡弘さん販売)
めす 657,720円 (西川地区 船越英治さん販売)

平成27年1月市場 (1月8日開催)

販売頭数 72頭 (去勢 38頭 めす 34頭)
販売金額 44,286,480円 (去勢 25,401,600円 めす 18,884,880円)
平均価格 615,090円 (去勢 668,463円 めす 555,438円)
最高価格 去勢 785,160円 (田原地区 和田司さん販売)
めす 795,960円 (東静内地区 片岡博さん販売)

平成27年2月市場 (2月4日開催)

販売頭数 64頭 (去勢 36頭 めす 28頭)
販売金額 41,497,920円 (去勢 24,994,440円 めす 16,503,480円)
平均価格 648,405円 (去勢 694,290円 めす 589,410円)
最高価格 去勢 875,880円 (東別地区 藤村英治さん販売)
めす 744,120円 (川合地区 原智彦さん販売)

平成27年3月市場 (3月5日開催)

販売頭数 70頭 (去勢 39頭 めす 31頭)
販売金額 44,810,280円 (去勢 26,842,320円 めす 17,967,960円)
平均価格 640,147円 (去勢 688,265円 めす 579,612円)
最高価格 去勢 865,080円 (東静内地区 漆原一也さん販売)
めす 716,040円 (浦和地区 (有)八田牧場販売)

理事会報告

12月理事会（26日）

- 1、対策農家の大口貸付先（1億1千万円超）の精算について
- 2、大口貸付先（1億1千万円超）の精算について
- 3、長期資金の貸付について
- 4、理事者に対する資金の貸付及び平成27年のクミカン取引について
- 5、規定類の改正(案)について
- 6、平成26年地域づくり総合交付金事業について
- 7、役員報酬審議委員の選任について
- 8、出資持分の譲渡について
- 9、定年退職者に対する特別加給退職金について

1月理事会（19日）

- 1、平成27年基本方針と重点実施事項について
- 2、平成27年度借入金の上限度額について
- 3、平成27年度貸付金利率の上限度

度について

- 4、平成27年度信用供与等の上限度額について
- 5、平成27年度理事者に対する貯金担保貸付及び共済担保貸付の具体的包括承認について
- 6、コンプライアンス・マニュアルの改正(案)について

1月理事会（30日）

- 1、対策農家及び一般農家の長期資金(借換)の貸付について
- 2、一般農家の債権償却について
- 3、平成26年度決算見込みについて
- 4、資産査定基準（担保評価マニュアル）(案)の見直しについて
- 5、役員退任慰労引当金の繰入について
- 6、Aコープの営業日について

2月理事会（23日）

- 1、対策農家の長期資金(借換)の貸付について
- 2、平成26年度事業報告及び未処分利益剰余金の処分(案)について
- 3、平成26年度の自己査定結果につ

いて

- 4、平成27年度事業計画(案)について
- 5、平成27年度固定資産の取得及び処分(案)について
- 6、平成27年度役員報酬について
- 7、平成27年度職員の定員及び職員給与の改正(案)について
- 8、平成26年度内部監査結果報告及び平成27年度内部監査計画について
- 9、平成27年度コンプライアンス計画について
- 10、平成27年度余裕金の預入先について
- 11、道の検査指摘事項に対する回答について
- 12、新規就農者に係るクミカンの利用について

3月理事会（25日）

- 1、対策農家等（不良債権先を言む）に係る回収及び対処方針について
- 2、対策農家の長期資金（借換）の貸付について
- 3、債務保証委託申込に伴う出資増口（外部出資）について

4月理事会（2日）

- 1、平成26年度決算監査の実施結果について
- 2、経営改善計画書の設定について
- 3、規定類の変更について
- 4、新ひだか町静内和牛生産改良組合との割賦契約について
- 5、第67回通常総会議案（決算関係書類及び部門損益計算書）について
- 6、第67回通常総会招集通知について

おつかれさまでした

退職職員

営農部営農課

平成26年12月31日付

高橋 重美

（勤続年数 41年7ヶ月）

営農部生産課

平成27年2月27日付

町田 隆俊

（勤続年数 24年11ヶ月）

平成27年度の ホッカイドウ競馬 が開幕しました！

ホッカイドウ競馬



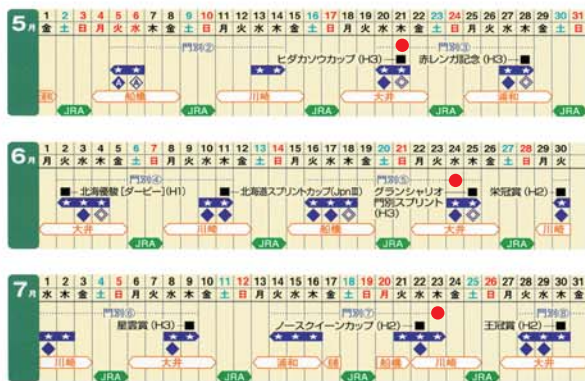
News Vol. 8

4月22日から今年度のホッカイドウ競馬が開幕しています。既に門別競馬場に足を運び、生のレースを楽しんできたという方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

昨年度は、皆さんの応援もあり、ホッカイドウ競馬は2年連続の黒字収支となりました。

ホッカイドウ競馬は、馬産地日高にとって非常に重要な産業です。今年度も皆さんの応援を宜しくお願いします。

ホッカイドウ競馬 開催日程



Aiba祭 開催日程

今年度のAiba祭の日程は、以下の通りとなっております。多くの皆様のご来場をお待ちしております。

- 5月21日(木)
- 6月24日(水)
- 7月23日(木)
- 8月20日(木)
- 9月24日(木)
- 10月29日(木)
- 11月10日(火)

※カレンダーの●印はAiba祭開催日

平成27年度 軽種馬市場開催日程

今年度の軽種馬市場の開催日程が、以下の通りとなっておりますので、お知らせ致します。

開催日	市場	対象	会場
5月15日(金)	千葉サラブレッドセール	2歳	船橋競馬場
5月26日(火)	北海道市場トレーニングセール	2歳	JRA札幌競馬場
7月7日(火)	八戸市場	1歳	八戸家畜市場
7月13日(月)	セレクトセール2015	1歳	ノーザンホースパーク
7月14日(火)	セレクトセール2015	当歳	
7月21日(火)	北海道市場セクションセール	1歳	JBBA北海道市場
8月24日(月)~27日(木)	北海道市場サマーセール	1歳	JBBA北海道市場
10月5日(月)~7日(水)	北海道市場オータムセール	1歳	JBBA北海道市場
10月21日(水)	ジェイエス繁殖馬セール	繁殖	JBBA北海道市場